

1か月予報は、明日、明後日の天気予報等に重要な初期値問題としての性格と1か月より長い予報にとって重要な境界値問題としての性格を併せ持っており、それだけに技術的困難も大きい。しかし、この1か月予報の着実な改善の経験が、今後開発が本格化するであろう、より長い予報期間を対象とする数値予報モデルを使った気候予報にも活かされていくと考えられる。

参考文献

- Leith C. E., 1974: Theoretical skill of Monte Carlo forecasts, *Mon. Wea. Rev.*, **102**, 409-418
 Lorenz E. N., 1963: Deterministic nonperiodic flow, *J. Atmos. Sci.*, **20**, 130-141
 Murau, R., F. Molteni, and T. N. Palmer, 1993: Ensemble prediction using dynamically conditioned

perturbations, *Quart. J. Roy. Meteor. Soc.*, **119**, 299-323

室井ちあし, 隈健一, 岩崎俊樹, 1995: 気象庁新全球予報モデルの概要, 日本気象学会1995年度秋季大会講演予稿集.

Palmer, T. N., 1993: Extended-range atmospheric prediction and the Lorenz model, *Bull. Amer. Meteor. Soc.*, **74**, 49-65

Toth, Z. and E. Kalnay, 1993: Ensemble forecast at NMC: The generation of perturbations, *Bull. Amer. Meteor. Soc.*, **74**, 2317-2330

露木義, 1993: 最適モードを用いた予報精度の予測, 1993年日本気象学会春季大会予稿集.

吉松和義, 高野清治, 隈健一, 1996: 気象庁全球モデルによるアンサンブル1か月予報実験-夏-その2, 1996年日本気象学会春季大会予稿集.

≡≡≡支部だより≡≡≡

北海道支部 平成8年度気象講演会のお知らせ

テーマ『滝川周辺の気象と最近の地震活動』

日時:

平成8年10月18日(金) 午後1時～4時40分

会場:

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市役所 大会議室(8階)

講演内容:

4人の講師により、一般市民を対象に身近な気象現象と最近の北海道周辺の地震活動について講演する。

①『最新レーダーが明かす降雪のしくみ』

北海道大学大学院理学研究科助教授 上田 博

②『グライダーと気象～雲達の千の顔・青空の千の色』

滝川市教育委員会スカイスポーツ課係長

丸伊 満

③『地球環境問題とオゾン層破壊』

北海道大学大学院地球環境科学研究科助教授

塩谷雅人

④『北海道北部浅発地震帯の活動～北竜町の地震を中心に～』

北海道大学理学部附属地震予知観測地域センター長

助教授 笠原 稔

主催:

日本気象学会北海道支部

共催:

滝川市, 滝川市教育委員会

後援:

NHK 札幌放送局, 北海道新聞社滝川支局

日本気象協会北海道本部, 札幌管区気象台